

令和元年度 研究助成対象者一覧 A申請（上限60万円）（20件）

NO	氏名	助成額 (万円)	研究テーマ	職名
1	清水 健太	60	地域を地域社会として生きる人々の「今」を理解する—映像を活用した民族誌的研究の実践—	早稲田大学大学院社会科学研究所 博士後期課程
2	細田 珠希	60	病気を抱える子どもを対象とした自殺防止の取り組みに関する研究	ノースウェスタン大学大学院 博士課程 学生
3	久世 哲也	60	「共生」のための汎用的能力を育む、法哲学教材の開発	東京都立町田高等学校
4	藤原 理沙	60	古代ローマにおける死者祭儀の変遷	東京大学大学院 人文社会系研究科 欧米系文化研究専攻 博士課程
5	加藤 弘則	40	ビッグデータ現象の〈プライバシー〉～「Suica データ提供問題」を手掛かりに検討する～	東京大学大学院総合文化研究科 広域科学専攻 関連基礎科学系 博士課程
6	西本 健吾	60	道徳教育における能動と受動の二項対立を超えて—デューイの習慣論を手掛かりに	東京大学大学院教育学研究科 総合教育科学専攻 基礎教育学コース 博士課程 3年
7	尾藤 央延	47.5	1つの規範違反行動が別の規範における違反行動を生み出す社会的メカニズムに関するフィールド実験を用いた実証的研究	大阪大学 人間科学研究科 博士後期課程
8	吉川 直人	60	国内のデスカフェの実態と効果に関する研究	京都女子大学 家政学部 生活福祉学科 助教
9	相田 まり	60	大正新教育における道徳教育—自由学園での実践に着目して—	東京大学大学院 教育学研究科 総合教育科学専攻 基礎教育学コース 博士課程 3年
10	中原 真祐子	47.5	アンリ・ベルクソンの自由と人格概念の解明—「避けがたい自由」とその源泉をめぐって—	公立大学法人 高崎経済大学 地域政策学部 特命助教
11	井上 兼一	60	昭和戦前期における宗教的情操教育に関する基礎研究	皇學館大学 教育学部・准教授
12	山根 悠平	60	小学校理科における研究倫理に関する児童の実態	日本体育大学大学院 教育学研究科 実践教科教育学専攻 博士後期課程

NO	氏名	助成額 (万円)	研究テーマ	職名
13	岩佐 康弘	60	教師を目指す学生におけるアイデンティティ発達とリアリティショックの関連—教育実習期間での縦断調査に基づく量的・質的検討—	広島大学大学院 教育学研究科 教育学習科学専攻 心理学分野 博士課程後期2年
14	田邊 尚樹	60	「習慣」の道德と倫理に関する近代日本教育思想史研究—元良勇次郎に焦点を当てて—	東京大学大学院教育学研究科 総合教育科学専攻基礎教育学コース 博士課程2年
15	秋葉 峻介	60	ACPにおける患者の自律と「家族」の位置づけに関する日米間比較	国立大学法人山梨大学 大学院総合研究部医学域 臨床研究審査委員会事務局 特任助教
16	川上 英明	60	森昭の道德教育論と「特設道德」論争：道德の教科化の是非をめぐって	東京大学大学院教育学研究科・博士課程院生
17	益子 洋人	60	対人葛藤解決の動機づけはいかにして高まるのか？—対人葛藤の解決力を高める心理教育プログラムの改善に向けて—	北海道教育大学札幌校 准教授
18	林 洋輔	55.5	「なぜ古典は生き方を形成するのか」：「精神の修練 Spiritual Exercise」の視点から	大阪教育大学 教育学部 保健体育講座 講師（専任）
19	小島 優子	60	生命と生殖に関する研究～18世紀の前成説と後成説理論から思想史を探る～	国立大学法人 高知大学 人文社会科学系人文社会科学部門 准教授
20	長津 結一郎	60	介護福祉を演劇でとらえなおす場の生成プロセス～福祉現場での行為を題材とした舞台作品に関する実証的研究～	九州大学・大学院芸術工学研究院・助教

令和元年度 研究助成 対象者一覧 B申請（上限100万円）（22件）

NO	氏名	助成額 (万円)	研究テーマ	職名
1	井口 真紀子	90	在宅医の苦悩と変容	上智大学実践宗教学研究科 死生学専攻 博士後期課程2年
2	太田 和彦	100	地域社会における人新世の緩和策・適応策の検討ならびに学習プログラムの提起——「ローカルな環境倫理」の観点から	総合地球環境学研究所 FEAST プロジェクト 研究員
3	小比賀美香子	100	「哲学対話」を用いた医学教育プログラム開発のための調査研究	岡山大学大学院医歯薬学総合研究科 総合内科学分野 講師
4	三重野雄太郎	100	子宮移植をめぐる法的・倫理的問題	佛教大学 社会学部 講師

NO	氏名	助成額 (万円)	研究テーマ	職名
5	伊藤 由希子	100	近現代日本における女性の精神史の検討—向田邦子を中心に	鎌倉女子大学 教育学部 専任講師
6	福家 佑亮	100	籤引きと民主政～社会的平等論に基づいた民主政への籤引き導入の正当化～	京都大学・非常勤講師
7	下野 葉月	100	フランス・ベイコンにおける『宗教』と『科学』	東京大学 人文社会系研究科
8	太田 紘史	90	規範倫理学における進化的暴露論証についての研究	新潟大学人文学部 准教授
9	橋本 直子	100	「なぜ韓国は難民の第三国定住受入れ政策に踏み切ったのか？倫理観か、国益か、歴史的経緯か？」	一橋大学大学院社会学研究科 准教授
10	永井 文也	100	脱植民地化に向けた先住民族の土地権原の認定と保障：カナダの多元的な法体制における先住民族法に関する人類学的分析	ブリティッシュ・コロンビア大学人類学部 博士課程
11	高木 裕貴	100	「社交の倫理学」の構築に向けて：カント社交論を中心として	京都大学大学院 文学研究科 倫理学専修 博士課程三回生
12	常 瀟琳	100	「勢」と「人情」—水戸学者と文明論者の論争における慣習と「文明」の問題	東京大学法学政治学研究科 博士課程学生
13	菅 隆彦	100	アマルティア・センによる『道徳感情論』解釈の、批判的検討	東北大学大学院経済学研究科 博士研究員
14	原 健一	100	思考実験はいかにして現実的事象の解明に貢献できるのか？—ベルクソン『物質と記憶』における概念工学の分析—	北海道大学大学院文学院
15	澤崎 高広	100	道徳的ジレンマの可能性を認める論理体系の構築	北海道大学大学院文学院人文専攻哲学宗教学講座 博士後期課程3年
16	Flavia BALDARI	100	ケアとしての哲学—生死にかかわる状況における実践哲学の経験	一般社団法人 哲学相談おんころ 理事 東京大学大学院法学政治学研究科 特任講師
17	原田 佳織	82	世俗の公共建築物の装飾画を通じた第三共和制期フランスの人生観の研究—共和主義、実証主義科学、そしてキリスト教との関係から—	お茶の水女子大学大学院 人間文化創成科学研究科 博士後期課程 比較社会文化学専攻 表象芸術論領域 3年

NO	氏名	助成額 (万円)	研究テーマ	職名
18	岡山 誠子	100	インドの政党による選挙候補者の採用に見られるセキュラリズムの実践	ロンドン大学東洋アフリカ研究学院 (SOAS) 法・社会科学部 政治・国際学科 博士課程 3年
19	丸山 友美	100	テレビアーカイブにみる障害者イメージと社会的包摂の実践	法政大学 社会学部 兼任講師
20	五味 玲子	99	三井越後屋の経営と信仰—日本近世の商家組織における祭祀・儀礼の社会的意義—	千葉大学大学院 人文社会科学研究科 文化科学研究専攻 博士後期課程 3年
21	土屋 誠一	100	板画家・棟方志功における宗教観と、生命に関する思想についての基礎的研究	沖縄県立芸術大学 美術工芸学部准教授
22	桂 結衣	100	「哲学対話」におけるスーパーヴィジョンの方法論的有効性について	大阪大学大学院文学研究科 博士後期課程

令和元年度 研究助成対象者一覧 継続助成 (上限60万円) (7件)

NO	氏名	助成額 (万円)	研究テーマ	職名
1	新田 あゆみ	58	出自を知りたい‘子’と身元を明かすことができない‘親’に関する研究	上智大学大学院 実践宗教学研究科 死生学専攻 博士後期課程 2年/研究補助員
2	笥 智子	60	死者とのつながり、そして和解～遺族ケアを考える	上智大学大学院 実践宗教学研究科 死生学専攻
3	柳原 良江	60	<つくられる生>の位置づけ—科学技術で生みだされる存在をめぐる生権力の分析	東京電機大学 理工学部 共通教育群 助教
4	田中 美穂	59.9	日本における終末期医療に関する法政策的・倫理的課題の検討—諸外国との比較を通して望ましい死のあり方を考える—	日本医師会総合政策研究機構
5	宋 琦	50	江戸時代中後期における神儒仏三教思想の形成と実態—松宮観山を中心として	総合研究大学院大学・文化科学研究科・国際日本研究専攻・博士後期課程
6	北田 依利	60	歴史学の倫理的課題：フィリピン日系人問題の掘り起こしとジェンダー分析	米国、ラトガーズ大学、歴史学研究科、博士号候補生
7	福原 正人	42	民主主義と時間上の境界画定に関する政治哲学研究	無所属/非常勤講師 (高崎経済大学地域政策学部・経済学部、フェリス女学院大学国際交流学部)